

## 女性にも男性にも 働きやすく 魅力ある職場づくり



油清浄機の定期整備中の田中三等機関士  
「やりがいは主機や発電機など様々な役割の機械に触れるところです。構造や整備方法など覚えることがたくさんあり大変ですが、原理や構造がわかって面白いです。」

### 会社の姿勢

#### 内航海運の将来の為に男女を問わず優秀な人材の育成を

内航海運業を営む当社にとって、船員は最も重要な資産の一つである。男女を問わず優秀な人材を確保・育成する方針のもと、乗組員の定着率アップを図る。

運輸局主催の海技者セミナーへの参加や会社訪問者への対応、学校訪問などで各学校関係とのつながりを大切に、適宜優秀な人材の確保に努めている。

人材の育成としては、適性検査による社員特性を抽出し、本人の持ち味の長所を伸ばし短所を改善するよう育成者（先輩管理職）に指導要領のアドバイスをすると共に、本人へ特性や持ち味を説明している。また、研修乗船後に事務所にて同期入社社員を招集し、研修乗船後のヒアリングや講習会を開催している。



安全標識整備中の浜田甲板部員  
「海の上で生活をしながら生活に必要な物を運び、誰かの役に立つことができる船員という職業にとってもやりがいを感じています。女性でもできることがたくさんある点も魅力的です。」

### 社内環境

#### 女性の為の船内設備はもちろん、男女ともに働きやすい環境を

甲板部4名、機関部4名、計8名の女性船員が活躍している当社では、1994年から女性船員の乗船のための設備を整え始め、同年女性船員の雇用を開始した。現在、自社配乗船12隻の内、7隻は女性専用のトイレ、シャワー、洗濯機、乾燥機を設置している。また、現在建造中の新造船も同様である。将来的には、全船に女性の為の設備を整えるよう目指している。

若手船員へ海技伝承できるようベテランと若手の年齢や性別の違いによりコミュニケーションやチームワークが希薄にならないよう努め、各種ハラスメント防止の為ホットラインを設け、問題の未然防止・早期発見を目的とした『言える化』に取り組んでいる。

今後も、男女共に働きやすい環境を作り、訪船活動を通じコミュニケーションを取り、魅力ある職場を目指す。



浜田甲板部員「本船には女性設備が整っているので、船内では快適に過ごすことができます。」

#### 取り組んでいる会社の概要

#### アジアパシフィックマリン株式会社

代表者：代表取締役社長 牛山 啓二  
所在地：福岡県北九州市  
資本金：3,500万円  
事業内容：内航海運業  
従業員数：138名

（平成29年12月時点）